

《履修上の留意事項》本講義は、初級実践日本語を受講した留学生を対象とする。日本語がネイティブの一般学生及び日本語能力検定1級（N1）を有する留学生を対象としない。

《担当者名》非常勤講師 / シルヴィア・オレーヤージュ（哲学 / 倫理学博士・日本語教師）

【概要】

本講義は、医療面接に必要な日本語表現の習得を目的とする。患者を対象とした日本語表現には特段の注意が必要である。過剰な丁寧表現は逆に相手に不信感を与えてしまう。また、他の医療従事者とのスムーズなコミュニケーション能力の習得も必要となるであろう。講義では、重要表現を繰り返し練習し、ロールプレイも行うことで実務的日本語技能を習得する。また、誤った表現をしてしまった際のリカバリー方法（謝罪方法）についても説明する。日本語4技能のうち、Speaking及びListening技能の向上を主に目指す。

【学修目標】

医療現場で用いられる特有の日本語表現を理解する。
敬語5種（尊敬語、謙譲語、丁寧語、丁寧語、美化語）の違いを理解する。
留学生にとって理解の難しい日本語表現を認識する。
違和感のない、自然な形で敬語が使えるようにする。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	医療面接序論	・医療現場で生じる様々なコミュニケーションの場面（患者・同僚等）について理解する。	シルヴィア・オレーヤージュ
2	日本語敬語と他外国語との差異（1）	・留学生の母語と日本語での敬語の違いを認識し、正しい敬語の用法を習得する。	シルヴィア・オレーヤージュ
3	日本語敬語と他外国語との差異（2）	・留学生の母語と日本語での敬語の違いを認識し、正しい敬語の用法を習得する。	シルヴィア・オレーヤージュ
4	質問力を高めるポイント	・質問力を身に付ける第一歩として、オープン/クローズドクエスションの使い分けと典型的な表現を習得する。	シルヴィア・オレーヤージュ
5	実践日本語中級（3）	・患者とのやり取りを聴き取る。ロールプレイを通じ固定表現を習得する。	シルヴィア・オレーヤージュ
6	実践日本語中級（4）	・患者とのやり取りを聴き取る。ロールプレイを通じ固定表現を習得する。	シルヴィア・オレーヤージュ
7	実践日本語中級（5）	・患者とのやり取りを聴き取る。ロールプレイを通じ固定表現を習得する。	シルヴィア・オレーヤージュ
8	中間確認テスト	・（1）～（5）を基礎とした聞き取りテスト、要約テストを通じ理解を深める。	シルヴィア・オレーヤージュ
9	日本の医療現場でのマナー	・コミュニケーションを円滑にするための日本文化への理解を深める。	シルヴィア・オレーヤージュ
10	実践日本語中級（6）	・医療従事者とのやり取りを聴き取る。ロールプレイを通じ固定表現を習得する。	シルヴィア・オレーヤージュ
11	実践日本語中級（7）	・医療従事者とのやり取りを聴き取る。ロールプレイを通じ固定表現を習得する。	シルヴィア・オレーヤージュ
12	実践日本語中級（8）	・医療従事者とのやり取りを聴き取る。ロールプレイを通じ固定表現を習得する。	シルヴィア・オレーヤージュ
13	実践日本語中級（9）	・医療従事者とのやり取りを聴き取る。ロールプレイを通じ固定表現を習得する。	シルヴィア・オレーヤージュ
14	実践日本語中級（10）	・医療従事者とのやり取りを聴き取る。ロールプレイを通じ固定表現を習得する。	シルヴィア・オレーヤージュ

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
15	期末確認テスト	・(6)～(10)を基礎とした聞き取りテスト、要約テストを通じ理解を深める。	シガ イ・ルヤージュ

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【アクティブ・ラーニング】

導入している

【評価方法】

課題中に課す課題・宿題・授業への取り組み等（20％）

中間確認テスト（30％）

期末確認テスト（50％）

【教科書】

講義で使用する資料は、必要に応じて講義毎に配布する。

【参考書】

講義で使用する参考資料は、必要に応じて講義毎に配布する。

【学修の準備】

授業中での配付資料（説明・課題・エクササイズ）の再読と練習問題（60分）

講義内容に関し復習を怠らない。特に、聞き取りにくかった表現、分りにくかった表現が、なぜ困難であったかの原因究明に務める（60分）。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

DP1.安全で質の高い歯科医療を提供するために必要な専門知識に基づく問題解決能力と患者ケアのための診療技能とからなる専門的実践能力、および医療・医学研究の発展のために必要な情報・科学技術の活用能力を身につけている。（専門知識に基づいた問題解決能力、患者ケアのための診療技能、情報・科学技術を生かす能力）

DP2.「総合的に患者・生活者を支える歯科医療」を提供するために必要な高い倫理観、他者を思いやる豊かな人間性および優れたコミュニケーション能力を身につけている。（総合的に患者・生活者をみる姿勢、プロフェッショナリズム、コミュニケーション能力）

DP4.4.多職種（保健、医療、福祉、介護）と連携・協力しながら歯科医師の専門性を発揮し、患者中心の安全な医療を実践できる能力を身につけている。（多職種連携能力）

【実務経験】

2016年より大学院生を対象に日本語教育を実施（教育歴9年）。2021年日本語教師資格取得（養成講座420時間総合コース修了証取得）。北海道ポーランド文化協会での日本語通訳など。

【実務経験を活かした教育内容】

外国人講師であるが故に、自身の日本語学習において困難に直面した経験から、なぜ、留学生にとって、特定の日本語表現・文法がわかりにくいのか、なぜ、大学での講義内容が聞き取りにくいのか、それらを教育内容に活かすことができるとの強みがある。日本語ネイティブにとって「当然」と考えられていることへの説明を日本語初習者は欲している。日本人講師では気付きづらい点への説明は日本語初習者の理解を大きく助ける。